

② 街づくり側道計画Q&A

Q1 街づくり側道は、なぜ必要なのですか？

A1 区の京王線沿線街づくり基本方針では、沿線全体の交通ネットワークの考え方として、歩行者、自転車を中心とした東西軸のネットワークを充実していくこととしています。特に、車や人の多い駅周辺の側道について、歩行者交通や自転車交通の安全性や回遊性などを確保するために幅員6mの街づくり側道が必要となります。

Q2 鉄道付属街路の都市計画は誰がいつ決定するのですか？

A2 東京都が決定する鉄道の都市計画と同時に世田谷区が都市計画決定します。

Q3 街づくり側道はいつ整備するのか？

A3 街づくり側道については、連続立体交差事業とともに、あわせて整備を進めてまいります。

Q4 鉄道の高架化によって、現在鉄道に沿ってある道路はなくなってしまうのですか？

A4 連立事業に伴い、鉄道と並行または、交差する道路の機能が阻害された場合、必要に応じて付替道路を整備する予定です。

③ 沿線歩いて発見(八幡山駅)

今回は八幡山駅周辺を紹介します。

八幡山駅の所在地は、杉並区上高井戸一丁目1番。杉並区にある駅ですが、駅周辺は世田谷区と杉並区の区境が入り組んでおり、世田谷と杉並の生活圏を共有した新しい街として、今後も発展が期待されています。駅周辺は自然環境に恵まれ野菜畑や公園なども点在しています。駅の南にある八幡山団地小公園では、毎年4月上旬に地域の皆さんの主催で、八幡山地区さくらまつりが盛大に開催されています。

八幡山駅の歴史を紐解きますと、京王線の開通から約5年後の大正7年5月に「松沢駅」として開業し、昭和12年から「八幡山駅」に改称となっています。昭和45年7月には、環状8号線の整備に伴い高架駅に生まれ変わりました。現在の駅名である八幡山は、東南約1キロのところに宝暦7年(1757年)に建てられた八幡宮(八幡宮がある山)に由来すると言われています。また、調布方面に留置線(図①)があり、過去に八幡山駅止まりの電車がここで折り返して運行していたようです。

駅の改札を出ると交差点を挟んで京王ストア等30店舗の入った京王リトナード八幡山(図②)があります。平成18年10月にオープンし、駅周辺にお住まいの方や駅利用者の皆さんに便利なデイリー型商業施設として親しまれています。スーパーマーケットや書店などの毎日の生活にあると便利な「ちょっといい」を提供していくことがコンセプトとなっています。ちなみに、「リトナード」とは、スペイン語のリトノ(若い芽)とフランス語のプロムナード(散歩道)の組み合わせのようです。

駅の南、赤堤通りを南下すると右側に「大宅社一文庫」(図③)があります。雑誌専門の私設図書館として余にも有名な図書館です。向かいには、これからも残して欲しい地域資源「松沢病院のみどり」があります。都立松沢病院(図④)は、大正8年巣鴨からこの地に移転されました。また、北沢川流域の源流域にあるこの敷地内には、葦原将軍がその名の由来とされている將軍池(図⑤)もあり緑と水に恵まれたスポットとなっています。

環八方面に移ると大規模な八幡山団地の中にランドマークとして青空にとても調和する八幡山団地の給水塔(図⑥)もあります。「みどりの拠点を活かし人に優しい」八幡山駅周辺地区を皆さんも散策してみたいはかがでしょうか。



①留置線



②京王リトナード八幡山



③大宅社一文庫



④都立松沢病院



⑤將軍池

問い合わせ先 ● 交通政策担当部鉄道立体・街づくり調整担当課 TEL: 03-5432-2545 FAX: 03-5432-3084

～京王線沿線の街づくり側道計画を検討しています～

第7号

京王線沿線まちづくり通信

発行: 2010年9月 世田谷区交通政策担当部鉄道立体・街づくり調整担当課

2・3面 ▶ ①京王線沿線の街づくり側道計画(案)の概要

4面 ▶ ②街づくり側道計画Q&A
③沿線歩いて発見(八幡山駅)



八幡山団地の給水塔

平成21年11月、京王線(笹塚駅～つつじヶ丘駅間)の連続立体交差化・複々線化および関連側道の都市計画素案等の説明会を開催し、鉄道の構造形式の検討から最適案の選定とともに関連する側道計画等についてお示しました。

区では、この9月11日(土)から21日(火)にかけて「京王線沿線まちづくりオープンハウスII」を8会場で開催し、街づくり側道計画や駅前広場の検討状況等、京王線沿線の街づくりについてパネルやパンフレット等によりご覧いただきました。

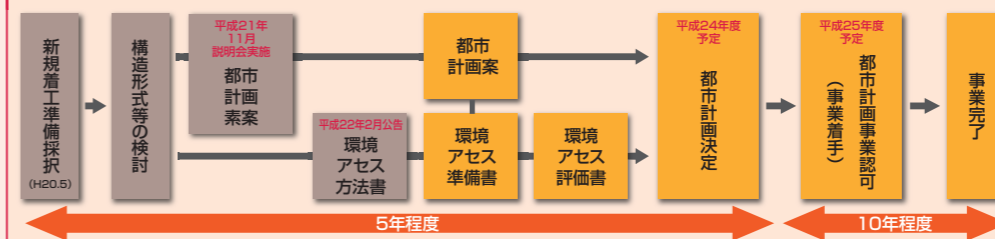
今回の通信では、駅周辺地区の街づくりの観点から、京王線沿線の街づくり側道計画(案)の概要等についてお知らせします。

これからも引き続き皆さんとともに沿線街づくりの検討を進めていきます。ご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

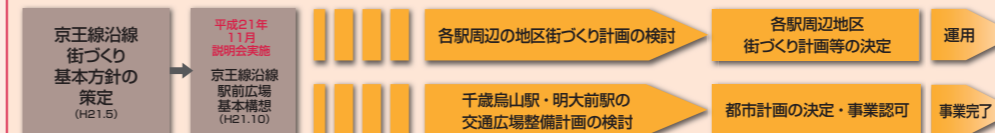


八幡山駅改札付近

● 連続立体交差事業の概ねの流れ(東京都)



● 沿線街づくりの概ねの流れ(世田谷区)



オープンハウスIIの日程および会場

- 9月11日(土) 松沢まちづくりセンター
- 9月12日(日) 南島山区民集会所
- 9月13日(月) 烏山区民センター
- 9月14日(火) 上北沢区民センター
- 9月15日(水) 永福和泉区民事務所桜上水北分室
- 9月16日(木) 松原まちづくりセンター
- 9月17日(金) 上北沢まちづくりセンター
- 9月21日(火) 新代田まちづくりセンター

※土日は14:00～16:30
平日は18:00～20:00に開催。



オープンハウスIIの様子(松沢まちづくりセンター)

① 京王線沿線の街づくり側道計画(案)の概要

区では、「京王線沿線街づくり基本方針」(平成21年5月)や「京王線沿線駅前広場基本構想」(平成21年10月)において、連続立体交差化に伴う京王線沿線の街づくりの考え方について示してきました。

今回、これらを踏まえ、街づくりの観点から、駅周辺における歩行者交通や自転車交通の安全性や回遊性などを確保するため、街づくり側道計画(案)をとりまとめました。

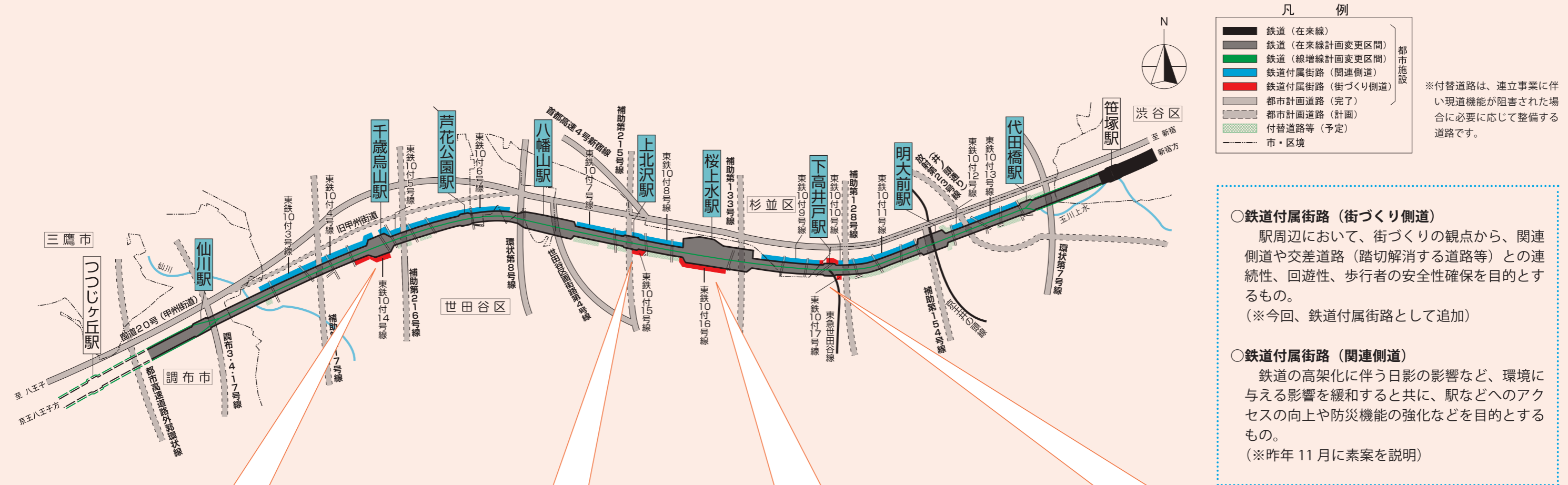
今後、この街づくり側道については、昨年11月に都市計画素案として説明した鉄道附属街路(関連側道)とあわせて、鉄道附属街路として都市計画決定に向けた手続きを進めてまいります。

街づくり側道計画(案)は次の場所でご覧いただけます。

- 閲覧場所：北沢総合支所街づくり課、烏山総合支所街づくり課
交通政策担当部鉄道立体・街づくり調整担当課
- 閲覧開始時期：平成22年9月27日(月)



ここでご覧頂けます



- 鉄道附属街路(街づくり側道)
駅周辺において、街づくりの観点から、関連側道や交差道路(踏切解消する道路等)との連続性、回遊性、歩行者の安全性確保を目的とするもの。
(※今回、鉄道附属街路として追加)
- 鉄道附属街路(関連側道)
鉄道の高架化に伴う日影の影響など、環境に与える影響を緩和すると共に、駅などへのアクセスの向上や防災機能の強化などを目的とするもの。
(※昨年11月に素案を説明)

